

令和元年度（2019年度）教育警察常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和元年（2019年）11月15日（金）
- 2 視察者 教育警察常任委員会委員（8名）
山口 裕（委員長）、竹崎和虎（副委員長）、城下広作、
溝口幸治、湊上陽一、増永慎一郎、岩田智子、島田 稔

3 視察の概要

（1）熊本北合志警察署（熊本市北区）

同警察署は、平成30年4月に開署した県内最新の警察署で、授乳室や災害時対応の設備など、来庁者に優しく、災害に強い庁舎となっている。

今回の視察では、同庁舎が、来年6月に新築移転する阿蘇警察署や、令和5年度に建て替えを予定している上天草警察署等の今後開署する庁舎のモデルとなるため、施設の特徴について説明を受け、施設を見学した。

署長からは、来庁者に優しいだけでなく、女性専用の仮眠室、更衣室、トイレ、シャワー室が一体となっているので、女性職員からも評判が良く、ここをモデルに、新築の警察署だけでなく、既存の警察署も今後改修が行われる予定と聞いているとの説明があった。



（2）高森町立高森中学校（阿蘇郡高森町）

同校では、日本教育工学協会認定の「学校情報化先進校」として、高森町新教育プランに基づき、電子黒板や学習用タブレット端末等のICT教育機器を活用した授業を行っている。

今回の視察では、中学校におけるICT教育機器を活用した授業の参考とするため、同校の取組みについて説明を受け、授業を見学した。

教育長からは、ICT教育機器は、単なる道具にしかすぎず、道具があっても、機器を使える先生と使えない先生がいると、教育に格差が生まれるので、高森町では、全ての先生が使えるように、全ての教科で指導者用デジタル教科書を導入し、各先生が苦勞することなく、電子黒板や学習用タブレット端末を使った授業が容易にできる環境を



実現したとの説明があった。

(3) 県立高森高等学校（阿蘇郡高森町）

同校では、「ICTを活用した『未来の学校』創造プロジェクト」指定校として、電子黒板や学習用タブレット端末等のICT教育機器が整備され、他の高校や大学との合同授業や遠隔授業など、ICTを活用した授業が日常的に行われている。

今回の視察では、高校におけるICTを活用した授業の参考とするため、同校の取組みについて説明を受け、授業を見学した。

校長からは、ICT教育機器を使った遠隔授業では、地元のことを深く知ろうという研究課題を与え、地元の様々な課題に対して、自分で解決策を見出す探求授業を行っており、この課程で、地元のことを知り、地元のことを考え、地元を好きになってくれればと思っているとの説明があった。

